

		学校運営計画(4月)		評価(3月)	
学校教育目標		1 感謝の気持ちを大切に、元気に、明るく、さわやかに挨拶のできる生徒を育む。 2 謙虚で素直な思いやりのある、人として品格のある生き方のできる生徒を育む。 3 生きる目標や生き方の指針となる理想や志を、高く掲げることができる生徒を育む。 4 主体性を持ち、果敢に挑戦する勇氣を持った生徒を育む。 5 諦めずに粘り強く努力し続け、逆境から逃げずに前に進むことのできる生徒を育む。 6 時を大切に、学校や地域に愛情と誇りを持つて生徒を育む。			
学校運営方針		(1)校訓「質実剛健 自強不息」を体現するため、学習活動・学校行事等において生徒の主体性を重視しつつ、幅広い教養の獲得を促す教育活動を推進する。 (2)激しく変化し、多様化する社会に柔軟に対応するため、人権感覚を高め、幅広い経験に基づく人間形成を図る。 (3)自己実現を図る進路目標を設定させ、その達成に向けた取組をチームで支援する指導体制を構築する。			
昨年度の成果と課題		年度重点目標		具 体 的 目 標	
<p>中高一貫教育校の特色を活かした魅力ある教育活動を通じ、その集大成として難関大を含めた多様な希望進路の実現を高度に達成できた。</p> <p>コロナ禍にありながら、生徒は変化に柔軟に対応し、学校行事で主体性を発揮する場面も多く見られ逞しさを感じることができた。</p> <p>今後は更に魅力ある中高一貫教育校として6年間を見通したマトリクス等の作成及び教育システムの継続的改善・充実を図っていかねばならない。</p>		幅広い教養の獲得を促す学習指導と授業改善	生徒の主体性に重点を置いた学習指導を展開し、生徒が課題意識を持って自ら学習に取り組む姿勢、粘り強く物事を探究する姿勢を育成する。	生徒の実態を踏まえ、生徒の力を最大限伸ばすために、ハイブリッド型学習をはじめとする「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善を推進する。	
		幅広い経験に基づく人間形成を図る生徒指導	ルールやしきみの意味についてよく考え、その理解に基づいて自らを律し、生徒相互の力によって、より良い学校生活を実現する意識と姿勢を育成する。	生徒の主体性を重視した学校行事や部活動を通して、自己の役割に対する責任感の醸成を促し、何事にも主体的に参画していく姿勢の育成を図る。	
		高い志を持って自己実現を図る進路目標の設定とその達成を支援する進路指導	模試試験等の的確な分析を行い、生徒の客観的状況の正確な把握とその共有を図るとともに、一人ひとりの可能性を引き出すための指導方法の研究を行う。	「夢に向かって」の意義等について指導を徹底し、「夢に向かって」を継続的・効果的に活用し、自らの将来の目標実現に向けた実践力を育成する。	
		高志を持って自己実現を図る進路目標の設定とその達成を支援する進路指導	模試試験等の的確な分析を行い、生徒の客観的状況の正確な把握とその共有を図るとともに、一人ひとりの可能性を引き出すための指導方法の研究を行う。	「夢に向かって」の意義等について指導を徹底し、「夢に向かって」を継続的・効果的に活用し、自らの将来の目標実現に向けた実践力を育成する。	
評価項目	具 体 的 目 標	具 体 的 方 策	評価(3月)	次年度の主な課題	
教育推進部	教育計画課	本校の教育目標を実現するための学習指導について研究する。	新学習指導要領および大学入試改革に対応した教育課程を策定する。 校務支援システムやハイブリッド型学習について研究を重ね、生徒の学習活動を支援する。		
	企画庶務課	学年や他の分掌・教科と連携し、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための学習指導を支援する。	学年や他の分掌・教科と連携し、生徒の個別指導を支援する。 主体性を持って粘り強く探究する生徒を育成するために、効果的な評価の観点を研究する。		
	広報課	学校教育目標につながる式典やPTAの活動を企画・実施する。	中高が一体となった式典やPTA活動ができるよう、他分掌と連携する。 行事において、オンラインの効果的活用をさらに推進する。		
生徒支援部	生徒指導課	宗像高校の魅力発信する効果的な広報活動を展開する。	ホームページ、インスタグラム等をタイムリーに更新し、内容の充実を図る。 中学校への情報発信、中学校訪問等の広報活動を強化する。		
	保健環境課	地域や近隣の学校と情報を共有し、連携を図る。	積極的に外部と交流し、学校の良さをアピールし、発信する。 生徒会や同志を募り、各種イベント、ボランティアへ積極的に参加を促す。		
	進路指導課	質実剛健の精神に基づき、高い規範意識と自律の精神、共感する力を持った生徒の育成を目指す。	日々の生活で元気に、明るく、さわやかな挨拶ができ、自己責任能力や道徳心を持った生徒を育成する。 安全な学校生活の確立を目指し、ルールやマナーを身に付けた生徒を育成する。		
進路支援部	進路指導課	志を高く掲げ、生徒会活動や部活動を通して目標達成に向けて果敢に挑戦する勇氣を持った生徒を育成する。	生徒会活動への積極的参加を促し、学校行事等の在り方について点検・改善を図る。 学校行事や部活動等を通してリーダーを育成するとともに目標に向けて挑戦し続ける生徒を育成する。		
	キャリア教育課	生徒に自らの健康に関する意識を高めさせ、配慮を要する生徒には速やかに対応し、全生徒が心身ともに健全で安心できる生活環境を整える。	生徒の状態を把握し、収集した生徒情報を共有し、素早く還元するための方策を充実させる。 スクールカウンセリングによる相談事業を有効的に行うため、ニーズに応じた最良の支援を実施する。		
	進路指導課	継続的な感染症対策に加え、日々の清掃から大掃除まで、自ら意欲的に美化衛生活動へ取り組む姿勢を定着させる。	保健・環境・美化委員会の活動への支援を通して、何事にも主体的に取り組むことの大切さを生徒へ浸透させる。		
研究開発部	進路指導課	入試および希望進路の多様化に対応し、進路実現のための指導体制を整備する。	入試の多様化に関する情報を共有し、指導法に反映させるとともに、生徒への適切な情報発信に努める。 外部講師を招聘するなど、多様な進路希望に対応するための方策を実施する。		
	キャリア教育課	興味・関心、資質・能力を踏まえた進路選択および受験種類の選択ができる生徒を育成する。	模試結果等を進路選択や的を絞った学力補充に生かせるように各学年で分析し、全体で共有する。 「夢に向かって」の活用を促し、進路実現に不可欠な学力を身に着けるための学習習慣を意識づける。		
	キャリア教育課	「総合的な探究の時間」の充実、改善に努める。	「総合的な探究の時間」において、教員による効果的なサポートを行う。 生徒の興味のある学問につながる探究課題に粘り強く取り組ませる。		
研究開発部	研修課	自己理解を深めるとともに、自己実現に向けて広い視野を持たせる。	キャリアパスポートを活用し、見通しを立てたり振り返ったりすることで自己理解を深める。 大学等との連携事業を積極的に進め、各学問分野についての理解を深める。		
	研修課	教育改革に伴う変化に的確に対応するために職員研修の充実と精選をはかる。	生徒の実態や本校の現状を踏まえた職員研修を企画し、実施する。 観点別評価や新教育課程への対応等、より現実即した指導力向上のための研修を実施する。		
	図書課	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善を推進する。	対面指導とオンライン指導を合わせた「ハイブリッド化」という指導モデルについての研究・実践を推進する。 様々な形態でのアクティブラーニングによる教科指導の方法について、研究・実践を推進する。		
学年部	第1学年	生徒の主体的な学びを支援する「学習情報センター」としての機能を充実させる。	図書委員会や総探委員と連携を取り、授業での学びを拡大深化させるための書籍の収集に努める。 図書館内にある書籍・情報を積極的に紹介・案内し、探究的学びを支援する。		
	第2学年	生徒及び図書委員会の協働的な活動を促す取り組みをし、「読書センター」としての機能を強化する。	生徒及び図書委員会の活動や成果物を積極的に発表・評価し、主体的な読書活動を奨励する。 各図書館行事を通して、生徒及び図書委員会の協働的な学びの機会を有意義なものとする。		
	第3学年	高校生としての基本的な生活習慣を確立し、自尊意識の高い生徒を育成する。	あいさつ、時間厳守、服装の整美、清掃について主体的に取り組む姿勢を育成する。 学校行事や部活動に積極的に参加し、主体的に取り組む姿勢を育成する。		
学校いじめ防止基本方針	第1学年	学習習慣を身につけさせ、早期から「学ぶ」ことへの意欲を高める。	「夢に向かって」を活用し、自ら学習する姿勢と基礎学力を定着させる。 総合的な探究の時間等を通して粘り強く物事を探究する姿勢を育成し、進路意識の向上を図る。		
	第2学年	自ら課題を設定し、達成のために自ら進んで努力を続ける生徒を育成する。	「夢に向かって」を活用し、計画的に学習を進め、こつこつと学習を継続する姿勢を育成する。 多様な生徒がいる中で、生徒それぞれが自らの進路に対して明確な目標を立て、その実現のために意欲を持って学びを進めていく姿勢を育成する。		
	第3学年	中堅学年として、先輩の模範となり、先輩を支える、学校の中心的存在としての意識を持たせる。	学業・部活動、生徒会活動の中心として、意欲的に活動に取り組み、学校を牽引する意識を持たせる。 礼儀・礼節を重んじ、朗らかな挨拶の出来る、明るい生徒を育成するため、日々の意識向上に取り組む。		
学校いじめ防止基本方針	第1学年	主体的に学習し、夢に向かって粘り強く最後まで努力する生徒の育成を図る。	「夢に向かって」を継続的・効果的に活用し、課題意識を持って自主学習に取り組む姿勢を育成する。 入試に対応した計画的な学習指導を行い、幅広い学力層・多様な進路希望に対応した進路指導体制を確立する。		
	第2学年	最高学年として、学校を牽引する自覚と統率力を持った生徒の育成を図る。	生徒・教員が一体となって学校行事や部活動を行うことで、何事にも果敢に挑戦しリーダーとして活躍できる生徒を育む。 日々の継続的な生徒指導により、感謝の気持ちや謙虚な姿勢を育み、最高学年としての自覚、礼節ある生徒を育成する。		
	第3学年	全職員の共通理解の下、組織的にいじめを生まない学校風土作りを推進する。	個人面談や教育相談を定期的・計画的に行い関係職員で連携して課題解決に臨む。 定期的なアンケートを実施し、日常的に生徒の行動の様子を把握する。		
学校いじめ防止基本方針	第1学年	いじめ・不登校対策委員会が定期的にとり組みを検討・改善する。	校内研修により職員の共通理解を図り、スクールカウンセラー等専門家の意見を交え、担任や職員全体への助言等を行うように努める。		